

ランサムウェア対策を実現するイミュータブルストレージ

Arcserve Cyber Resilient Storage (CRS) シリーズ

CRSシリーズ
CMキャラクター「R (アール)」

ランサムウェアによる脅威がとどまる所を知りません。

対策として有効なのがシステムのバックアップですが、近年ではバックアップ データ自体を狙う攻撃が目立ってきています。

最善な対策は、**イミュータブル(不変)ストレージ**※にバックアップを保管することです。

Arcserve Cyber Resilient Storage (CRS) シリーズは、

バックアップ データの保護に特化したイミュータブル(不変)ストレージ。

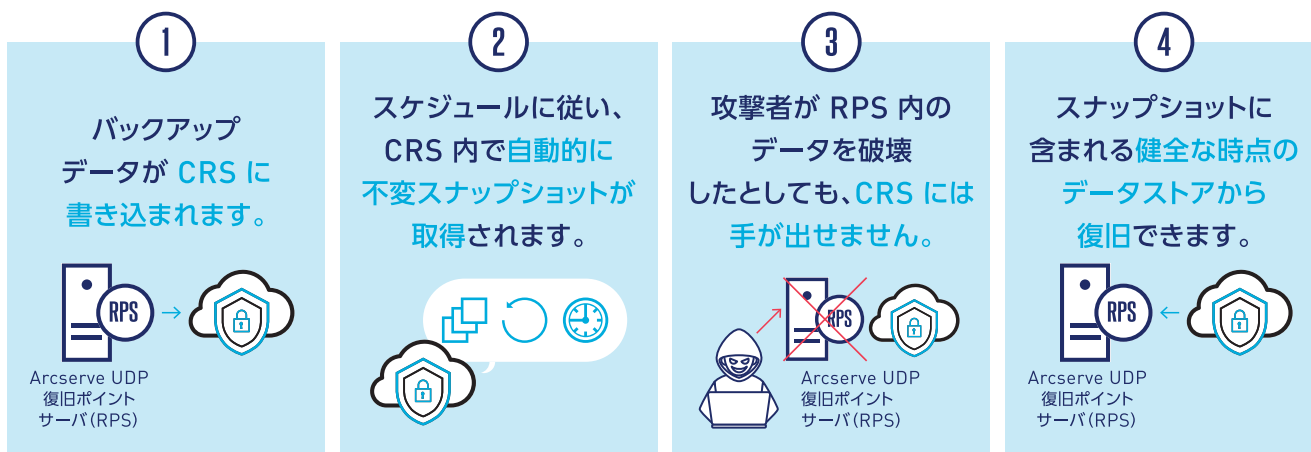
簡単・安心なバックアップ ソフトウェア Arcserve UDP のデータを攻撃から守り、迅速な業務再開を支援します。

※イミュータブルストレージとは、一度書き込まれたデータを変更・削除できないようにするストレージです。
ランサムウェア攻撃や誤操作によるデータ消失から、重要なデータを保護するために利用されます。

Arcserve Cyber Resilient Storage (CRS) シリーズ概要



ランサムウェア攻撃からの復旧シナリオ



Arcserve Cyber Resilient Storage (CRS) シリーズの2つの特長

✓ 簡単

使い慣れた Arcserve UDP コンソールでバックアップ／リストア操作ができるので、ランサムウェア攻撃を受けた後の復旧手順も焦らず簡単に行えます。

✓ 節約

Arcserve UDP 標準の継続的な増分バックアップ・重複排除が使えるため、少ないストレージ使用量で多数の世代をバックアップできます。

クラウドとオンプレミス、要件に応じた2つの利用形態



Arcserve Cloud Cyber Resilient Storage (クラウド CRS)



- Arcserve のクラウド ストレージにデータを保管
- 構築不要ですぐに導入できる

Arcserve Cyber Resilient Storage (CRS)



- Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ (RPS) と同じく、オンプレミス環境に設置
- LAN内で大容量データを保管

【構成要素】



Arcserve Cloud Cyber Resilient Storage (クラウド CRS)

- Arcserve UDP コンソール
- Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ (RPS)
- インターネット接続



Arcserve Cyber Resilient Storage (オンプレ型)

- Arcserve UDP コンソール
- Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ (RPS)
- CRSソフトウェア (Arcserve提供)
- サーバ ハードウェア (お客様側で用意)

【価格】

サービス名	価格 (税込)
Arcserve Cloud Cyber Resilient Storage 1TB - 1年サブスクリプション	¥60,000 (¥66,000)
Arcserve Cyber Resilient Storage 1TB - 1年サブスクリプション ^{※1}	¥36,000 (¥39,600)
Arcserve Cloud Storage 1TB - 1年サブスクリプション ^{※2}	¥36,000 (¥39,600)

※1 3年/5年サブスクリプションもあります。詳しくは Arcserve Japan Web サイトをご確認ください。

※2 クラウド CRS から不変スナップショット機能を省いたサービス。災害対策のためのオフサイト保管を実現。

30日間無償トライアル
実施中!



arcserve®

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。製品の仕様・性能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
Copyright © 2025 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

Arcserve Japan

お問い合わせ
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング
お問い合わせ窓口: Arcserveジャパン ダイレクト (0120-410-116)
JapanDirect@arcserve.com

WEBサイト: <https://arcserve.com/jp>

※記載事項は変更になる場合がございます。 2025年9月現在

Arcserve Japan
WEBサイト

